

## 肺腫瘍内科

### 《概要》

平成9年10月新病院開院以降、肺癌をはじめ広く呼吸器疾患全般を専門に診療に当たり、平成19年6月1日からは呼吸器科から肺腫瘍内科と診療科名を変更し、肺癌をはじめとする呼吸器(胸腔内)腫瘍疾患を専門に診療を続けてきました。

常勤医師は肺腫瘍内科 森山医師 一人ではありますが、他科の協力の下、気管支鏡検査、化学療法、放射線治療、手術などの腫瘍疾患への検査・診断および集学的治療を続けております。

平成22年4月からは非常勤医師として近畿大学医学部から準教授の倉田宝保医師が勤務し、毎週木曜日午前の外来と午後の病棟を担当しています。

外来日は火曜日、金曜日が森山担当で、木曜日午前が倉田医師担当です。気管支鏡は月曜日と木曜日の午後行っており、事前の外来受診が必要です。

(呼吸器科医師退職後、肺炎、肺気腫、気管支喘息などの一般呼吸器診療は行っておりません。)

日本呼吸器関連施設、日本呼吸器内視鏡関連施設(気管支鏡)

### 《実績》(2010年5月～2011年6月)

気管支鏡症例数	70例
肺癌 化学療法 総投与数 (化学療法同時放射線治療の化学療法を含む)	151コース
他、症状緩和症例	15例
のべ入院患者数	91人